



週間情報



No.0519

発行日 令和5年6月6日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 第75回全国消防長会総会を開催

全国消防長会

令和5年5月31日(水)、京都府京都市のロームシアター京都メインホールにおいて、全国の消防長及び消防関係者が一堂に会し、第75回全国消防長会総会を開催しました。

総会における議案審議事項、報告事項、決議等は、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算について
- 第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び令和5年度収支予算(案)について
- 第3号議案 令和6年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和5年度及び令和6年度全国消防長会役員の改選について
- 第5号議案 第76回全国消防長会総会の開催について

【報告事項】

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う消防機関の対応について
- 2 消防問題検討会における新型コロナウイルス感染症に関する検討の終了について
- 3 2022年ISO/TC94/SC14(消防隊員用個人防護装備)WG1・WG2会議(東京)の結果について
- 4 消防車両の供給について
- 5 泡消火薬剤の動向について
- 6 令和5年度「救急車適正利用PRポスター」のデザインの決定について
- 7 「第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会」及び「第32回全国救急隊員シンポジウム」の開催について
- 8 新日本消防会館に係る動向について
- 9 第52回全国消防救助技術大会の開催について
- 10 一般財団法人全国消防協会の消防団体保険事業の現状と加入促進について
- 11 第33回アジア消防長協会総会の開催日程等について

【決議】

第75回全国消防長会総会決議について

【消防庁見解】

「最近の消防行政をめぐる動向について」

消防庁総務課長 門前 浩司 氏

【配布資料】

- 1 令和5年度及び令和6年度事業推進委員会委員及び消防問題検討会委員の委嘱について
- 2 令和4年度消防行政相談について
- 3 第51回全国消防救助技術大会のご案内について
- 4 市町村の消防の広域化等の進捗状況について
- 5 一般財団法人全国消防協会の指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」の開設について
- 6 一般財団法人全国消防協会の賛助会員の紹介について

令和6年度国の予算概算要求に関する要望について（抜粋）

令和4年度の災害を振り返ると、4月の北海道知床半島沖における観光船事故をはじめ、6月から8月にかけて全国各地で発生した大雨被害や9月の台風第14号による暴風・大雨等の被害、さらには12月の大雪等による被害など、多くの尊い人命と貴重な財産が失われる自然災害や事故等が頻発している。

また、令和5年2月のトルコ南東部を震源とする地震では、甚大な被害が出る災害となった一方で、我が国においても震度5以上の地震が各地で発生しており、今後発生が危惧されている南海トラフ地震や首都直下地震等の大規模災害への備えのみならず、危険物災害等の特殊災害や国際情勢の変化に伴うテロ災害等への備えが必要である。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したが、救急需要は引き続き高い水準で推移することが懸念される。消防には傷病者を迅速かつ適切に医療機関に救急搬送する体制の確保が求められ、安全安心を守る最前線で活動する消防に寄せられる期待は、ますます大きくなっている。

こうした状況下において、国民の生命、身体、財産を守る消防機関がその職責を果たすため、地域防災力の充実強化を図り、防災・減災の取組を進め、消防職・団員の安全に配慮しつつ、広域化、高度化する災害に対応できる消防職員を確保するとともに、各種車両・装備品の充実や拠点となる消防庁舎等の整備を進め、消防体制の充実強化を図らなければならない。

併せて、時代の変化に対応した消防防災分野におけるDXを推進し、持続可能な消防行政の運営と国民サービスの質を向上させることが必要不可欠である。

しかしながら、超高齢・人口減少社会の進展による社会保障費の増大によって財政の硬直化は顕著となっており、地方財政は大変厳しい状況である。

ついては、国による一段の地方財政への支援と地方公共団体の実情に即した財政の柔軟な運用及び制度の改善・調整が図られるよう、次の事項について、全国消防長の総意をもって強く要望する。

- 1 実践的訓練施設設備に係る財政措置の拡充について
緊急消防援助隊の派遣を想定した実践的訓練施設整備に係る財政措置について
- 2 消防防災分野におけるDXについて
救急業務に対応するシステム改修や火災予防分野における電子申請の導入など、消防機関が取り組むDX化に要する経費に係る財政措置について
- 3 緊急消防援助隊の体制を維持するための財政措置等について
 - (1) 「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画についての見直し及び緊急消防援助隊設備整備費補助金の予算額を十分に確保すること
 - (2) 無償使用制度について、配置済み車両資機材等の更新計画を策定し、再配置等更新に係る適切な財政措置を行うこと
- 4 消防水利の財政措置について
消防防災施設整備費補助金について、十分な予算額を確保するとともに、補助対象を拡充すること
- 5 地方交付税の所要額の確保について
今後ますます増加する消防需要に的確に対応できるよう、必要な経費を確実に積算し、地方交付税の所要額を確保すること

決 議

近年、大地震や気候変動等による自然災害が甚大化・頻発化する中、昨年3月に生じた福島県沖を震源とする最大震度6強の地震や、日本列島に相次いで上陸した台風により、人的被害や住家被害が各地で発生した。

さらには、8月に静岡市で発生した火災では、消火活動中の消防職員1名が殉職する痛ましい事案が発生しているところであり、組織を挙げての安全管理対策の充実を図る必要がある。

防災・減災に対する国民の関心が高まる中、我々消防機関は、地震・風水害・火山噴火等の自然災害、危険物火災などの特殊な災害や事故への対応に加えて、昨今の世界情勢が不安定な状況において、テロ災害等、あらゆる事態への対応とその備えが強く求められている。

また、新型コロナウイルス感染症による救急搬送困難事案や消防本部におけるクラスターの発生等、消防行政全般、消防体制のあり方に影響を及ぼしているため、引き続き感染拡大防止対策の推進を図り、消防体制の維持に万全を期さなければならない。

そうした中、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図りながら、第74回全国消防長会総会、各事業推進委員会等を対面で開催するなど、各事業を展開してきたところである。

全国消防長会は、地域住民が安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりの実現に向け、消防防災行政が直面する諸課題に対し、消防活動能力の向上をはじめ消防防災体制の充実・強化を図るため、次に掲げる項目を重点として事業を推進するものとする。

一、震災・水災等大規模災害対策の推進

一、消防職員の安全管理対策の更なる充実

一、消防広域応援体制の充実・強化

一、消防の広域化及び消防の連携・協力への対応

一、新型コロナウイルス感染症流行下における消防・救急体制の維持・確保

一、救急搬送体制の強化、救急業務高度化への対応及び市民等への応急手当の普及促進

一、消防救急無線の運用に係る諸課題及び緊急通報を取り巻く情勢変化への対応

一、防火対象物等の防火・防災安全対策の推進

一、危険物施設の事故防止対策の推進

一、消防職員の処遇改善及び女性の活躍推進

一、消防・救急需要に的確に対応した消防職員の確保及び消防装備等の充実

一、情報管理システムを活用した情報共有体制の充実・強化

以上、全国消防長の総意をもって決議する。

令和5年5月31日

第75回全国消防長会総会



【議長 井上京都市消防局長】



【次期開催地 西尾堺市消防局長】

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

令和5年5月30日（火）、京都府京都市のホテルオークラ京都において、常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議事項、報告事項等は、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算について
- 第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び令和5年度収支予算（案）について
- 第3号議案 令和6年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和5年度及び令和6年度全国消防長会役員の改選について
- 第5号議案 第76回全国消防長会総会の開催について
- 第6号議案 次期常任理事会の開催について
- 第7号議案 第75回全国消防長会総会決議について

【報告事項】

総会と同内容

【配布資料】

- 1 令和5年度及び令和6年度事業推進委員会委員及び消防問題検討会委員の委嘱について
- 2 令和4年度消防行政相談について
- 3 第51回全国消防救助技術大会のご案内について
- 4 市町村の消防の広域化等の進捗状況について



【常任理事会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和5年5月30日（火）、京都府京都市のホテルオークラ京都において、一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催しました。

通常理事会における議案審議事項、報告事項等は、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について
- 第2号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 第3号議案 定時評議員会の開催について
- 第4号議案 臨時評議員会の開催について
- 第5号議案 第52回全国消防救助技術大会の開催について
- 第6号議案 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 職務の執行状況の報告について
- 2 通常理事会の開催予定について
- 3 令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び最優秀賞受賞者による発表の実施について
- 4 第51回全国消防救助技術大会のスローガン等について
- 5 令和5年度の消防団体保険事業の現状と推進状況について

【配布資料】

- 1 役員等の状況について
- 2 指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」の開設について
- 3 賛助会員の紹介について



【通常理事会の様子】

◆ 令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び発表を実施

一般財団法人全国消防協会

令和5年5月31日（水）、京都府京都市のロームシアター京都メインホールにおいて、令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び発表を実施しました。

全国の応募総数116作品のうち、各地区支部での選考を経て推薦のあった作品は、機器の部64作品、論文の部22作品の合計86作品でした。

この中から、選考委員会での厳正な審査の結果、20作品が会長賞に入選されました。

受賞者及び審査結果は、次のとおりです。

1 受賞者

(1) 機器の部（16作品／26名）

受賞名	消防本部名	氏 名	
最優秀賞	射水市消防本部	高瀬 昌樹	桜野 美生
秀 賞	富山市消防局	室田 健悟	
	日高広域消防事務組合消防本部	黒井 郁弥	森本 敦貴
	三観広域行政組合消防本部	磯野 孝樹	石川 和樹
	南渡島消防事務組合消防本部	金澤 斎	
	東近江行政組合消防本部	大橋 真	辻 健人
	大阪市消防局	奥田 剛	
優 賞	さいたま市消防局	高野 駿也	
	相模原市消防局	大田 貴広	糸田川 真
		笠井 愛里加	
	小松市消防本部	切石 真仁	
	大阪市消防局	植野 雄次郎	
	糸魚川市消防本部	伊井 公平	日馬 勇貴
	大阪市消防局	川内 淳郎	篠田 拓摩
		南 祥太	
	東近江行政組合消防本部	中村 麟太郎	
	岡山市消防局	阿部 亮太	大池 将央
	八女消防本部	甲木 哲二	

(2) 論文の部（4作品／10名）

受賞名	消防本部名	氏 名	
最優秀賞	横浜市消防局	大本 冴	折戸 卓也
		宮平 良清	
秀 賞	十日町地域消防本部	瀬沼 哲司	志賀 達也
優 賞	高岡市消防本部	柴田 修史	村上 蛍
	福岡市消防局	森本 新平	高松 浩平
		矢野 淳志	

【受賞者（下線は表彰式出席者）】

2 発表者・発表作品

(1) 機器の部

射水市消防本部 高瀬 昌樹、桜野 美生

「坐位搬送時における体位管理補助器具の考案について」

(2) 論文の部

横浜市消防局 大本 冨、折戸 卓也

「G I G Aスクール構想と連携した防災教育の推進について」



【記念写真撮影】

◆ 第46回全国消防職員意見発表会の開催及び審査結果

全国消防長会

令和5年5月31日（水）、京都府京都市のロームシアター京都メインホールにおいて、第46回全国消防職員意見発表会を開催しました。

全国9支部から選り抜かれた10名の消防職員により、消防業務に対する提言や取り組むべき課題などについて発表がありました。

発表テーマ及び審査結果は、次のとおりです。

賞 別	支部名	氏 名	消防本部名	発表テーマ
最優秀賞	四 国	薬師神 雛世	松山市消防局	『言葉を乗せて、 T a k e O f f !』
優 秀 賞	東 北	蛭田 崇孔	郡山地方広域消防組合消防本部	『事故の撲滅は今ここから』
優 秀 賞	東近畿	嶋田 誉之	嶺北消防組合消防本部	『不安な表情を安堵な微笑みへ』
入 賞	関 東	山田 将太郎	上田地域広域連合消防本部	『感じる力、気付く力』
入 賞	関 東	白瀬 拓也	那珂市消防本部	『絆を深める自主防災』
入 賞	東 海	天野 将芳	衣浦東部広域連合消防局	『今、ココにある命』
入 賞	近 畿	奥野 秀平	豊岡市消防本部	『高齢者救急を防ぐ』
入 賞	中 国	有馬 春稀	広島市消防局	『障壁のない場所』
入 賞	九 州	西 遼太	松浦市消防本部	『聞く力で安心を』
入 賞	北海道	高橋 駿平	日高東部消防組合消防本部	『壊れない心をつくるために』

※ 優秀賞、入賞の記載順は、発表順です。



【意見発表の様子】



【記念写真撮影】

◆ 第80回全国消防長会救急委員会を開催

全国消防長会救急委員会

令和5年5月17日（水）、兵庫県豊岡市（西村屋ホテル招月庭）において、第80回全国消防長会救急委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 第79回全国消防長会救急委員会以降の委員の異動及び副委員長・常任委員の選出について
- 2 「令和5年度救急車適正利用PRポスター」の審査結果について

【審議事項】

第81回全国消防長会救急委員会の開催地について

【情報交換】

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更及び改正感染症法に伴う搬送体制について
- 2 救急隊員の労務管理対策に関する取組状況について
- 3 超高齢社会を踏まえた救急需要対策（救急隊の増隊等）の取組について

【情報提供】

- 1 「第32回全国救急隊員シンポジウム」の開催について
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 救急振興財団の事業等について
- 4 「救急救命士によるアナフィラキシーの判断に関する観察研究 研究参加の公募について（お願い）」



【委員長挨拶】



【情報交換の様子】

◆ 第101回全国消防長会技術委員会を開催

全国消防長会技術委員会

令和5年5月18日（木）、北海道深川市（ラ・カンパーニュホテル深川）において、第101回全国消防長会技術委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 令和4年度事業実績について
- 2 ISO/TC94/SC14/WG1 及び WG2 に係る国際会議の結果報告について

【議案審議】

- 1 ISO/TC94/SC14 国際会議への派遣登録消防本部について
- 2 第102回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 3 第103回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

- 1 スマートフォン等から自動で緊急通報を発信する機能について
- 2 消防隊員用個人防火装備の運用及び取り扱いについて

【情報提供】

- 1 消防庁からの情報提供
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 消防用シャシの供給状況について
消防車両の「自主表示銘板」の変更について
- 4 スマートマスク実訓練評価実施報告
- 5 動力消防ポンプ及び特殊消火装置の不具合事例について
- 6 日本消防服装・装備協会の事業概要について



【委員長挨拶】



【情報交換におけるグループ討議の様子】

◆ 第117回全国消防長会予防委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和5年5月23日（火）、北海道函館市（フォーポイントバイシェラトン函館）において、第117回全国消防長会予防委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【議題】

次期開催について

【情報交換】

- 1 高齢者世帯への住宅用火災警報器設置率向上について
- 2 消火器の内部及び機能の点検の報告について
- 3 新築工事中の建物内部に設置される工事現場事務所の取扱いについて
- 4 無料定額宿泊所に対する防火指導について

【情報提供】

- 1 消防用設備等の設置のあり方に係る予防事務審査・検査基準の改定について
- 2 小規模複合防火対象物等を対象とした火災予防啓発映像の公開について
- 3 消防法違反を生じさせない取組に係る啓発用動画について
- 4 神戸市兵庫区共同住宅火災の概要と当局の対応について
- 5 災害の教訓等の風化を防ぎ、市民の防火防災意識の向上を図る取組について
- 6 木造準耐火造保育園全焼火災の調査結果と注意喚起
- 7 消防研究センターの体制と事業概要について
- 8 日本消防検定協会の業務紹介等
（住宅用火災警報器の作動状況等に関する調査について）
- 9 日本火災報知機工業会の取り組み
- 10 （公財）日本防災協会の事業取組状況について
- 11 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 12 令和5年度石油機器技術管理講習等の開催予定等について
- 13 令和5年度住宅防火防災推進協議会の事業概要等について
- 14 消防防災科学センターの事業取組状況について
- 15 一般財団法人日本ガス機器検査協会からのお知らせ
- 16 国土交通省説明資料

【国からの情報提供】

予防行政（課題と対応）



【委員長挨拶】



【情報提供の様子】

◆ 令和5年度愛知県消防長会署長連絡会を開催

愛知県消防長会

愛知県消防長会では、令和5年5月25日（木）、愛知県名古屋市の名古屋クラウンホテルにおいて、令和5年度愛知県消防長会署長連絡会を開催しました。

この連絡会は、愛知県消防長会の各種事業を積極的に促進することを目的として開催したものです。

当日は、愛知県下消防本部代表消防署長が参加して、今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生時において迅速かつ的確な対応が図れるよう、緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練実施計画などについて協議し、連携強化を図ることができました。



【署長連絡会の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 自動心肺蘇生器の受納式典を実施

津島市消防本部（愛知）

津島市消防本部では、令和5年5月14日（日）、株式会社ヨシヅヤから自動心肺蘇生器1台の寄附を受け、受納式典を実施しました。

この寄附は、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が活用されたものです。

式典では、日比一昭津島市長から同社に謝意を述べるとともに、当消防本部に対して「市民の命を守る架け橋となるよう活躍を期待する。」と述べられました。

また、株式会社ヨシヅヤ代表取締役の伊藤彰浩氏から寄附に対する思いを述べていただくとともに、目録の贈呈が行われました。

式典の最後には、寄附していただいた自動心肺蘇生器を使用し、当消防本部の救急隊が活動展示を行いました。

今後、寄贈資器材を活用して、さらなる救命率の向上に努めてまいります。



【活動展示の様子】



【受納式典後の記念撮影】

◆ 日置市消防団新入団員研修を実施

日置市消防本部（鹿児島）

日置市消防本部では、令和5年5月14日（日）、当消防本部において、日置市消防団新入団員研修を実施しました。

この研修は、入団2年未満の新入団員を対象に毎年行っており、当消防本部職員の指導のもと、新入団員の15人に対して、消防活動に必要な知識や技術を伝達することを目的として実施したものです。

当日は、ホースの取り扱い訓練や訓練礼式を行った後、永山日置市長と新入団員が意見交換を行い、新入団員から団員確保に向けてさまざまな意見が出されました。

今後も、消防団や各地域と連携して、新入団員の確保に向けて広報を行ってまいります。



【永山日置市長と意見交換の様子】

◆ 山口市学生消防団員就業奨励金・山口市消防団企業雇用奨励金交付式を実施

山口市消防本部（山口）

山口市消防本部では、令和5年5月24日（水）、市内の保育園において、山口市学生消防団員就業奨励金・山口市消防団企業雇用奨励金交付式を実施しました。

これは、学生消防団員の当市定住と将来の防災の担い手の確保に向けて、学生消防団活動認証証明書の交付を受けた団員が当市で就職し、就職後も消防団活動を継続した場合に、団員と雇用した事業所に対してそれぞれ奨励金を交付するものです。

交付式では、奨励金の交付条件に該当した団員2人と雇用した事業所の代表者に対して、伊藤山口市長から奨励金を交付しました。

この取り組みを通じて、郷土愛護の精神を醸成させ、今後も消防団員の確保に向けた取り組みを継続し、地域防災力の向上に努めてまいります。



【交付式の様子】



【交付式後の記念撮影】

訓練

◆ 消防技術競技会を実施

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和5年5月8日（月）、9日（火）の2日間、加古川市東消防署において、消防技術競技会を実施しました。

この競技会は、警防隊員として必要な消防活動の習熟と他隊との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部5署所の消防隊が参加し、ポンプ運用要領、屋内進入要領、他隊との連携要領などの安全性と迅速性をテーマに競技会を実施しました。

この競技会で培った経験を活かし、実災害時に市民の負託に応えられるよう、今後も訓練に励んでまいります。



【消防技術競技会の様子】

◆ ファイヤーコントロールボックス訓練を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和5年4月21日（金）、5月10日（水）の2日間、当消防本部において、ファイヤーコントロールボックス訓練を実施しました。

この訓練は、兵庫県消防学校専科教育警防科に入校した当消防本部の職員が、当該教育で得た知識などを職員に伝達し、火災発生時における現場対応能力の向上につなげることを目的として実施したものです。

訓練では、当消防本部の職員が作成したファイヤーコントロールボックスを使用し、火災の性状と消火活動時の危険性について再確認することができました。

今後も、訓練を継続し、職員の安全教育に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 塵芥車事故対応訓練を実施

北秋田市消防本部（秋田）

北秋田市消防本部では、令和5年5月10日（水）、11日（木）の2日間、秋田北クリーン企画宗和共同企業体の協力を得て、塵芥車事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、塵芥車に関する知識や技術を習得し、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、圧縮式と回転式についての構造把握、緊急時における停止要領、火災発生時や要救助者挟まれ事故における救出要領などについて確認することができました。

今後も、他機関との訓練を継続し、安全・確実・迅速な活動を行ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 水難事案対応訓練を実施

恵那市消防本部（岐阜）

恵那市消防本部では、令和5年5月10日（水）、11日（木）の2日間、管内の河川において、水難事案対応訓練を実施しました。

この訓練は、当消防本部の管内に矢作ダム、阿木川ダムなどの水量豊富なダム湖や、夏場には多くの遊泳者が訪れる河川が多数あることから、水難事案発生時に迅速な救助活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、「増水した河川に要救助者が流された。」との想定で、ドローンによる要救助者監視、スローバックによる要救助者救出、救命策発射銃による溺者救出、小型船舶ボート操縦などの訓練を実施しました。

今後も、継続して訓練を実施し、迅速な救助活動を行ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した消防救助訓練を実施

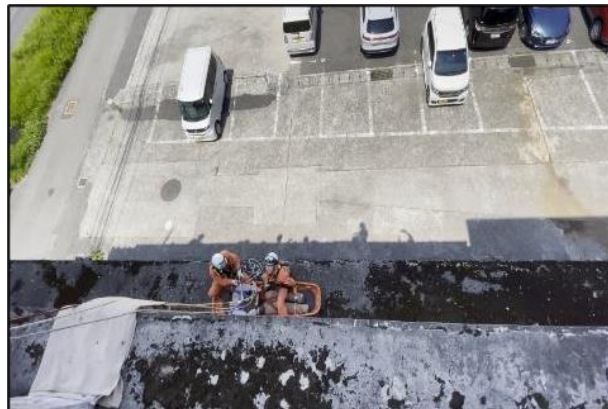
鳥取県東部消防局（鳥取）

鳥取県東部消防局では、令和5年5月9日（火）から12日（金）までの4日間、管内の解体予定の建物を活用した消防救助訓練を実施しました。

この訓練は、管内の解体予定である国府町総合支所旧庁舎の建物を活用した訓練を実施し、現場対応能力や危機管理能力の向上を目的として実施したものです。

期間中は、当消防本部職員70人が参加し、濃煙室内での検索救助、扉の開錠、要救助者を検索中に退路が断たれた場合の緊急退避、震災により倒壊した建物内部に取り残された要救助者を救出するためのクリーンブリーチング、高所に支点がない場合を想定したロープ救出などの訓練を行いました。

今後も、住民の安全・安心のため、継続して訓練に励んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 水難救助合同訓練を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和5年5月18日（木）、当消防本部管内を流れる一級河川の利根川において、羽生市消防本部、行田市消防本部、埼玉県防災航空隊と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、羽生市消防本部が企画し、各機関の情報伝達要領の確認と救助体制の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、ブラインド形式の訓練を実施し、各機関が迅速・的確な救助活動を展開して、相互の活動要領について確認することができました。

今後も、各機関とより一層の連携強化を図り、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 令和5年度ドローン操作員養成訓練を実施

いわき市消防本部（福島）

いわき市消防本部では、令和5年4月11日（火）から5月19日（金）までの間、令和5年度ドローン操作員養成訓練を実施しました。

この訓練は、当消防本部の新規操作員6人に対して、総務省消防庁の「ドローン運用アドバイザー派遣等要綱」により選任を受けた、当消防本部のドローン運用アドバイザーが指導者として実施したものです。

訓練では、航空法やドローンに関する基礎知識についての座学と、1人50フライト（総飛行時間約14時間）の実技を行いました。

また、機体の点検、飛行日誌の作成、フェールセーフの設定確認から始まり、基本操縦訓練、GPSなどのセンサー類をオフにして行うATTI飛行、災害時の運用を想定したSTMによる目視外飛行、カメラ操作、画像伝送、映像LIVE配信など応用的な操作訓練を実施しました。

今後も、各種災害において積極的にドローンを活用し、消防力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 九州電力送配電株式会社と合同救助訓練を実施

熊毛地区消防組合消防本部（鹿児島）

熊毛地区消防組合消防本部では、令和5年5月19日（金）、鹿児島県熊毛郡中種子町油久地内において、九州電力送配電株式会社と合同救助訓練を実施しました。

この訓練は、同社と送電鉄塔事故発生時の活動要領について共有することを目的として実施したものです。

当日は、「高圧送電鉄塔で作業中に事故が発生し、要救助者がいる。」という想定で、実際に66KVが通電している高圧送電鉄塔を使用し、同社から感電防止や二次災害防止について助言をいただきながら、要救助者を安全・迅速に救出しました。

今後も、他機関と合同訓練を継続し、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 合同消防訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和5年5月20日（土）、当市第一牧志公設市場において、当市場の関係者と合同消防訓練を実施しました。

この訓練は、通路が狭く消防活動が困難と予想される密集地域において火災が発生した場合の活動要領を、当市場の関係者と共有し、被害を最小限に防ぐことを目的として実施したものです。

当日は、当市場の関係者が初期消火、119番通報、避難誘導を実施したほか、当消防局の職員が新たに配備された水幕防御ホースを使用した延焼阻止活動を実施しました。

今後も、市民と連携して地域防災力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 新任救助隊長研修を実施

岐阜市消防本部（岐阜）

岐阜市消防本部では、令和5年5月12日（金）、今年度に救助隊長を任命された職員を対象に、新任救助隊長研修を実施しました。

この研修は、当消防本部の高度救助隊長が指導者となり、訓練指導の際に必要な知識や技術などを新任救助隊長に伝達し、当消防本部の指導要領について統一することを目的として実施したものです。

当日は、消防救助操法などを行い、訓練指導に必要なスキルや安全管理のポイントなどを共有することができました。

今後も、訓練を継続し、チーム力のさらなる強化を図ってまいります。



【研修の様子】

◆ 危険物実務研修会を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和5年5月25日（木）、管内の危険物施設において、危険物実務研修会を実施しました。

この研修会は、危険物施設における事故などを未然に防止するため、職員がより専門的な知識を習得し、効果的な立入検査を行うことを目的として毎年実施しているものです。

当日は、当消防本部の予防課危険物係の職員を講師として、当消防本部職員が約50人参加し、危険物施設における設備を理解するとともに、立入検査時の着眼点などを確認しました。

今後も、引き続き効果的な火災予防を推進するため、専門知識の習得に努めてまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 消防活動協力者に感謝状を贈呈

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局は、令和5年5月11日（木）、高浜市内で発生した2件の事案において、消防活動協力者の4人に対して消防長から感謝状を贈呈しました。

1事案目は、令和5年1月21日（土）、高浜市内で発生した救急事案において、薬局店内で心肺停止状態になった男性に対し、同店従業員の3人が連携して、119番通報、胸骨圧迫、AEDを使用した電気ショックを救急隊が到着するまで実施し、男性の社会復帰に貢献したものです。

2事案目は、令和5年3月3日（金）、高浜市内の共同住宅で発生した火災事案において、火災に気づいた男性が周囲に知らせるとともに、火元の住人と協力して消火活動を行い、火災の延焼阻止に貢献したものです。



【感謝状贈呈後の記念撮影 1事案目】



【感謝状贈呈後の記念撮影 2事案目】

◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和5年5月13日（土）、救急活動協力者の漁業組合団体に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年3月10日（金）、当管内において、あさり漁の作業中に意識がない男性を発見した漁業組合員の11人が連携して119番通報と応急処置を実施するとともに、船舶で男性を安全な位置まで搬送し救急隊に引き継いだもので、病院搬送中に意識が戻り、病院で治療後に社会復帰されました。

協力者の冷静な判断と連携した行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈式後の記念撮影 ※代表者に贈呈】

◆ 予防技術資格者証を交付

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、令和5年5月16日（火）、予防技術資格者に対して予防技術資格者証を交付しました。

この資格者証は、これまで書面で交付していましたが、新たに真ちゅう製のプレートを作成し、「防火査察」、「消防用設備等」、「危険物」の認定資格取得数に応じて、ゴールドプレート（すべてに該当する者）、シルバープレート（いずれかに該当する者）を消防長から予防技術資格者の20人に交付したものです。

今後は、予防技術資格者証を制服に着用し、予防業務の専門化、高度化を推進してまいります。

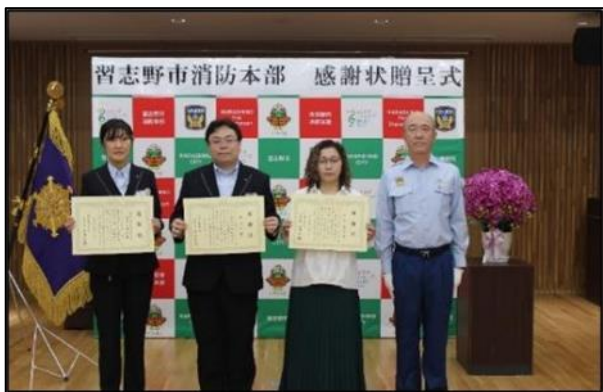


【予防技術資格者証】



【交付式後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈



【感謝状贈呈後の記念撮影】

習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和5年5月22日（月）、当消防本部において、消防協力者の3人に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年2月21日（火）、習志野市内の駅構内で、心肺停止状態となった男性に対して近くにいた3人が協力し、119番通報、心肺蘇生、AEDを使用した除細動を実施したものです。

男性は、救急隊が到着した時には心拍が再開し、病院で治療後に社会復帰されました。

◆ 第72回はたらく消防の写生会とハイブリッド型防災教育を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁三鷹消防署では、令和5年4月20日（木）から5月12日（金）までの間、管内15校の小学校において、第72回はたらく消防の写生会とハイブリッド型防災教育を実施しました。

この取り組みは、児童に対して防火防災について意識の向上を図るとともに、教職員に対して当署に配備された多目的タブレットを活用し、ICT教育を掛け合わせた効果的な防災教育の推進について働きかけることを目的として実施したものです。

期間中は、児童と消防職団員がふれあいながら絵を描く姿や、消防職員からVR映像コンテンツ「BーVR」や「リモート防災訓練」といった、デジタル教材の説明を熱心に聞く教職員の姿が見られました。



【写生会と防災教育の様子】

◆ 今治消防ドローン隊^{ディックス}DICSの発隊式を実施

今治市消防本部（愛媛）

今治市消防本部では、令和5年5月19日（金）、今治消防ドローン隊DICSの発隊式を実施しました。

これは、赤外線カメラやスピーカーを搭載したドローン2機を、当消防本部の中央消防署と北消防署に配備したことに伴い、災害現場での捜索や情報伝達などで活用し、消防救助活動の向上を図ることとしたものです。

DICSとは、DRONE INTELLIGENCE COLLECTION SQUADの頭文字をとったもので、「ドローン情報収集分隊」という意味です。

今後は、配備されたドローンを活用し、要救助者にスピーカーで声をかけて安心感を与えるとともに、要救助者の様子を高機能カメラで確認し、安全・確実な消防救助活動を目指してまいります。



【発隊式後の記念撮影】

◆ 厚木市自衛消防隊消火指導会を開催

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和5年5月22日（月）、厚木市文化会館において、厚木市自衛消防隊消火指導会を開催しました。

この指導会は、厚木市と清川村の事業所に対して、消防用設備を使用した初期消火の重要性について広く周知を図ることを目的として昨年度から開催しているものです。

当日は、参加者全員に訓練用の屋内消火栓設備（1号消火栓、易操作性1号消火栓）や水消火器の放水体験をしていただき、大変有意義な指導会となりました。

今後も、有効な初期消火が実施できるよう、研修や広報を継続してまいります。



【指導会の様子】



【指導会後の記念撮影】

消防庁通知等

◆ 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

(中防消第5号、令和5年5月23日)

中央防災会議会長（内閣総理大臣）岸田文雄から関係都道府県防災会議会長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであり、感謝を申し上げます。

例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、河川の急な増水・氾濫、内水氾濫、がけ崩れ、土石流、地すべり、高潮、高波、竜巻等により、多数の人的被害及び住家被害が発生している。とりわけ近年は、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年7月1日からの大雨など、毎年のように大規模な風水害が発生しており、昨年も、8月の大雨、台風第14号、台風第15号等により、全国各地で土砂災害や浸水被害が発生した。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230523_bousai_1.pdf) に掲載されています。

◆ 豪雨等災害の発生時における防火安全上の留意事項について

(消防予第310号、消防危第147号、令和5年5月24日)

消防庁予防課長、危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

例年、梅雨期や台風期などにおいて局地的大雨や集中豪雨等が観測され、とりわけ近年は、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年7月に発生した静岡県熱海市の土石流災害などにより、多大な被害が発生しています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/0f2cc97afb291dfae9b1841ca649e8970a5618d9.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁予防課 明田、高島、馬場

電 話：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

消防庁危険物保安室 千葉、北中、渥美

電 話：03-5253-7524

FAX：03-5253-7534

◆ 令和4年中の都道府県別の危険物に係る事故の発生状況等について（通知）

（消防危第157号、令和5年5月29日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、令和4年中の都道府県別の危険物に係る事故の発生状況等について、別紙1のとおり取りまとめましたので通知します。

貴職におかれましては、「危険物等に係る事故防止対策の推進について」（令和5年3月17日付け消防危第59号。以下「59号通知」という。）別添1の「危険物等に係る事故防止対策の推進について」及び59号通知別添2の「令和5年度危険物等事故防止対策実施要領」を参考に、別紙1に示す都道府県別の事故の発生状況や危険物施設の態様を踏まえ、事故防止に係る取組を積極的に実施いただくようお願いします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230529_kiho_2.pdf）に掲載されています。

消防庁危険物保安室

担当：千葉、佐藤、葛西

TEL：03-5253-7524（直通）

E-mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

◆ 弾道ミサイル発射に係る情報伝達体制等について

（消防国第68号、消防運第46号、令和5年5月29日）

消防庁国民保護・防災部、国民保護室長、国民保護運用室長から各都道府県国民保護担当部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本日、内閣官房から別添1「弾道ミサイル発射に係る情報伝達について」（令和5年5月29日付け閣副事態第267号内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付内閣審議官通知）により、北朝鮮から5月31日午前0時から6月11日午前0時までの間に「衛星」と称する弾道ミサイルを発射することについて通報があった旨、通知がありました。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/bde61e8389e39127b24266b211ebf35fb2a011fb.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）

担当：消防庁国民保護・防災部国民保護運用室

【Jアラートについて】

安西課長補佐、関根係長

TEL：03-5253-7550

【国民保護事案・連絡体制について】

富田課長補佐、島田係長

TEL：03-5253-7551

【広域応援について】

広域応援室 鳥枝理事官、平井係長

TEL：03-5253-7569

【BC 災害消防活動について】

参事官付 鈴木参事官補佐、志水係長

TEL：03-5253-7507

◆ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係告示の整備等に関する告示」の公布に係る周知について（通知）

（消防救第178号、令和5年5月29日）

消防庁救急企画室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」の公布及び一部施行に係る周知について（通知）」（令和4年12月16日付け消防消第426号・消防救第378号消防庁消防・救急課長及び救急企画室長連名通知。以下「公布通知」という。）により、当該改正法による改正における消防機関関係部分について、基本的な考え方等をお示ししました。公布通知の記1（1）において、令和6年4月から、感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針（以下「基本指針」という。）に「感染症の患者の移送のための体制の確保に関する事項」等が追加される旨を記載しました。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230529tuuti.pdf>) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室

飯田専門官、鈴木補佐、日高係長
橋本事務官、田中事務官

TEL : 03-5253-7529

E-mail : kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 令和5年度総合防災訓練大綱について

（消防災第109号、令和5年5月30日）

消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、別添のとおり、中央防災会議において「令和5年度総合防災訓練大綱」（以下「大綱」という。）が決定されました。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230530_bousai_1.pdf) に掲載されています。

【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課

防災調整係 遠矢係長、日比野事務官

電話：03-5253-7525 FAX：03-5253-7535

報道発表

◆ 第7回予防業務優良事例表彰の受賞団体の決定

(令和5年5月24日、消防庁)

消防庁では、各消防本部の予防業務（危険物に関する業務も含む。）の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的とする「予防業務優良事例表彰」を平成28年度に創設しました。

この度、令和4年1月1日（土）から12月31日（土）までの間に各消防本部で力を入れた取組として応募があったものについて、予防業務優良事例表彰選考会議（委員長：小林恭一東京理科大学教授）において審査を行った結果、「第7回予防業務優良事例表彰」の受賞団体を決定いたしました。受賞団体の決定に伴い、5月31日（水）に表彰式を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230531_yobou_1.pdf) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 酒川主幹、馬場

TEL 03-5253-7523（直通）

メール yobo_atmark_soumu.go.jp

(注) 迷惑メール防止のため、メールアドレスの一部を変えています。「_atmark_」を「@」に置き換えてください。

◆ 「令和5年度危険物安全週間」の実施及び消防庁長官賞の表彰

(令和5年5月26日、消防庁)

令和5年6月4日（日）から6月10日（土）まで「令和5年度危険物安全週間」を実施し、消防庁長官賞の表彰を行います。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/6f06985a4711814865cc0232194bd21f67374a51.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室
小川、田中

TEL 03-5253-7111（代表）

03-5253-7524（直通）

◆ 「令和4年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表
(令和5年5月29日、消防庁)

消防庁では、毎年、石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故の概要を取りまとめています。今般、令和4年中の事故概要を取りまとめたので公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/3c3ebaa50813f1e678e708288ed8a8b2e914d362.pdf>) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室 担 当 脇坂、高橋、佐々木 電 話 03-5253-7528 (直通)
--

◆ 市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催
(令和5年5月29日、消防庁)

災害時には、短期間のうちに膨大な業務に対応・処理することが求められ、市区長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

そのため、市区長の危機管理意識の一層の向上を図り、市区の災害対応力の向上等につながるよう、全国の市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/96cd212929c9b59e424b62e3fecdb69cf6fd8470.pdf>) に掲載されています。

<連絡先> 消防庁国民保護・防災部防災課 福原補佐・早勢係長・藤本事務官 Tel 03-5253-7525 (直通) Mail bousaikikaku@soumu.go.jp (取材希望送付先)
--

◆ 「令和4年中の危険物に係る事故の概要」の公表
(令和5年5月29日、消防庁)

令和4年中(1月～12月)の危険物施設に係る事故の発生状況について、とりまとめたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230529_kiho_1.pdf) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室 千葉、佐藤、葛西 TEL 03-5253-7524 (直通)
--

情報提供

◆ 「第32回全国救急隊員シンポジウム」一般演題の募集

一般財団法人救急振興財団

第32回全国救急隊員シンポジウム（名古屋市消防局・救急振興財団共催）の一般演題を次のとおり募集いたします。

◎ 開催日 令和6年2月1日（木）、2日（金）の2日間

◎ 会場 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号）

【募集期間】令和5年5月30日（火）から7月28日（金）正午まで

【応募資格】消防職員を対象とします。

【募集演題】

救急 需要 対策	(1) 救急安心センター事業（#7119）に関する事
	(2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事
	(3) 搬送困難事例への対応（頻回利用、精神科等）に関する事
	(4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事
	(5) 超高齢社会における救急業務の対策に関する事
	(6) 救急搬送の増大の要因に関する事
	(7) 救急隊員の労務管理に関する事
連 携	(8) 関係機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携（転院搬送含む）に関する事
	(9) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討等を含む）に関する事
	(10) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事
教 育	(11) 指導救命士に関する事
	(12) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育等を含む）に関する事
	(13) 救急隊員教育（再教育含む）に関する事
活 動	(14) 救急活動に関する事（内因性）
	(15) 救急活動に関する事（外因性）
	(16) 救急活動に関する事（妊婦・小児対応）
	(17) 現場活動におけるポンプ隊・救助隊等との連携に関する事
	(18) 処置範囲拡大に関する事
	(19) テロ災害、多数傷病者事故に関する事
	(20) 自然災害、大規模災害に関する事
	(21) 特異症例に関する事（新型コロナウイルス感染症等を含む）
	(22) 救急隊の感染防止対策に関する事
	(23) 応急手当普及啓発（e-ラーニング、講習時間短縮等の普及促進対策を含む）に関する事
そ の 他	(24) 調査・研究（統計含む）に関する事
	(25) 救急資器材（ICT含む）に関する事
	(26) 各消防本部における救急業務の工夫した取り組みに関する事
	(27) その他

【募集演題数】

217演題（予定）

【応募方法】

下記ホームページの「一般演題募集」の「演題登録はこちら」から必要事項を記入し登録してください。

第32回全国救急隊員シンポジウムホームページアドレス「<https://32nagoya99sympo.com/>」

※ 上記ホームページに掲載の「一般演題募集要項」に同意の上、ご応募ください（要項の条件を満たさないものは選考の対象外となります）。二次元コードからもアクセスいただけます。



《二次元コード》

【選考について】

全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師及び消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行い、選考結果については、9月下旬頃に演題登録時に記入するメールアドレスへ電子メールで通知します。

【その他】

シンポジウムの開催及び一般演題募集の詳細につきましては、上記ホームページをご参照ください。

【お問合せ先】

一般財団法人救急振興財団

事務局総務部企画調査課

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地

TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050

MAIL: sinpo@fasd.or.jp

◆ 指定店登録事業者からのお知らせ（令和5年5月分）

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者からのご案内をメールにて定期的に各消防本部へ配信しています。5月は以下の配信を実施いたしました。お見逃しの方は、消防職員のみ公開している指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」にてご確認ください。

1 5月10日（水）配信

【自動車】新車カーリース「SOMP0で乗る」：株式会社DeNA SOMP0 Carlife

2 5月11日（木）配信

(1) 【生活雑貨・日用品】アスタリフトシリーズ化粧品の特別販売：株式会社ライフワゴン

(2) 【生活雑貨・日用品】オリジナルフライパン・包丁等の特別販売：富士器業株式会社

3 5月17日（水）配信

【飲料・食料品】冷凍食品等の特別販売：横浜冷凍株式会社

4 5月24日（水）配信

【飲料・食料品】純天然アルカリ保存水の特別販売：株式会社ケイ・エフ・ジー

【問合せ先】

業務課

担当：石井健一、茂呂

メール：zaimu-5@fcj.gr.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。